



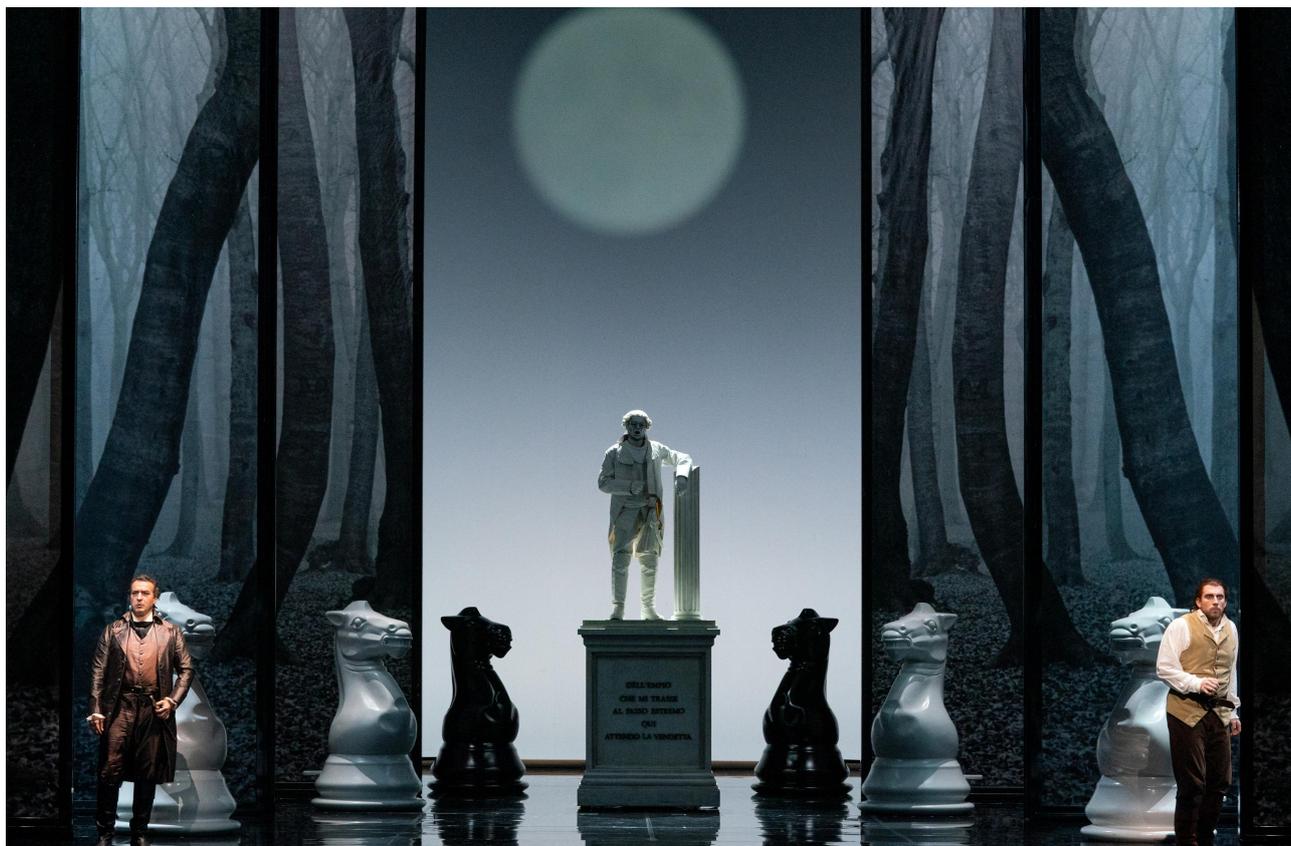
新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ

モーツァルト ドン・ジョヴァンニ

Don Giovanni / Wolfgang Amadeus Mozart

2026年3月5日(木)～ 3月12日(木)

会場:新国立劇場オペラパレス 2026年1月10日(土) 10:00～前売開始



2022年公演より

モーツァルト珠玉のアリアが綴る 稀代のプレイボーイの物語『ドン・ジョヴァンニ』

稀代のプレイボーイ、ドン・ジョヴァンニの華麗なる恋の遍歴と衝撃的な最期を描いた、モーツァルトの人気作。次々に女性を渡り歩いた挙句、地獄へ落とされたスペイン伝説の色事師“ドン・ファン伝説”をもとにした、劇的で疾走感に満ち、喜劇と悲劇を絶妙なバランスで味わえる名作オペラです。デモニッシュな魅力あふれる主人公と女性達の美しいアリアが次々と展開し、モーツァルトの魅力を余すことなく伝えます。

プリアンテ×ルング！スター歌手陣が聴かせる極上のモーツァルト

タイトルロールにはモーツァルトを得意とする世界的バリトン、ヴィート・プリアンテが5年ぶりに新国立劇場に登場。ドンナ・アンナにはスター・ソプラノのイリーナ・ルングが出演。レポレッロのフランチェスコ・レオーネ、ドンナ・エルヴィーラのサラ・コルトレツィス、ドン・オッターヴィオのデイヴ・モナコとイタリア注目の若手が勢揃い。飯森範親の指揮のもと、極上のモーツァルトをお届けします。

<資料のご請求、取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当:高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail:takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

欲望のままに生きる男 その先に待ち受けるものは—

人々を魅了してやまない稀代のプレイボーイ、ドン・ジョヴァンニの華麗なる恋の遍歴と衝撃的な最期を描いた、モーツァルトの人気作。娘を誘惑してその父親を殺し、石像として現れた父親の幽霊に地獄へ連れていかれる伝説の色事師“ドン・ファン伝説”をもとにした、劇的で疾走感に満ち、喜劇と悲劇を絶妙なバランスで味わえる名作オペラ。

デモーニッシュな魅力あふれる主人公と憎めない性格の従者レポレツォ、対する女性達の数々の美しいアリアで綴られていき、石像との息詰まる対決とそれに続くラストの地獄落ちは、圧巻のクライマックスです。



アサガロフ演出は主人公を 18 世紀に実在した色男カサノヴァになぞらえ、舞台をヴェネツィアに移しています。美しく優雅で、古典的ながらモダンなセンスの光る舞台美術や衣裳も見どころのひとつです。モーツァルトのオペラを観てみたいという方にも、通の方にもお薦めの作品です。

最高のモーツァルト歌いが勢揃い！ 極上の『ドン・ジョヴァンニ』をオペラパレスで！



V.プリアンテ



I.ルング

タイトルロールのドン・ジョヴァンニにはモーツァルトを得意とする世界的バリトン、ヴィート・プリアンテが 5 年ぶりに新国立劇場に登場。ドンナ・アンナには圧倒的な美声で観客を魅了するスター・ソプラノのイーナ・ルングが出演。レポレツォに美声の若手バス、フランチェスコ・レオーネ、ドンナ・エルヴィーラにはイタリアで大躍進中のリリック・ソプラノ、サラ・コルトレツィス、ドン・オッターヴィオに若手出るカント・テノールのデイヴ・モナコと、イタリア注目の若手が勢揃い。飯森範親の指揮のもと、極上のモーツァルトをお届けします。

タイトルロールのドン・ジョヴァンニにはモーツァルトを得意とする世界的バリトン、ヴィート・プリアンテが 5 年ぶりに新国立劇場に登場。ドンナ・アンナには圧倒的な美声で観客を魅了するスター・ソプラノのイーナ・ルングが出演。レポレツォに美声の若手バス、フランチェスコ・レオーネ、ドンナ・エルヴィーラにはイタリアで大躍進中のリリック・ソプラノ、サラ・コルトレツィス、ドン・オッターヴィオに若手出るカント・テノールのデイヴ・モナコと、イタリア注目の若手が勢揃い。飯森範親の指揮のもと、極上のモーツァルトをお届けします。



左上より飯森範親、G.アサガロフ、V.プリアンテ、田中大揮、F.レオーネ
I.ルング、D.モナコ、S.コルトレツィス、近藤圭、盛田麻央

<あらすじ>



無類の色男ドン・ジョヴァンニが、ある晩騎士長の娘ドンナ・アンナのもとに忍び込むも、駆け付けた騎士長を刺殺してしまう。従者のレポレツォと逃げる途中で、かつて捨てた女ドンナ・エルヴィーラに迫られたり、村娘ツェルリーナを口説いたり放蕩の限りを尽くす。やがて悪行が明らかになり逃げだした先は決闘で殺した騎士長が眠る墓場。ドン・ジョヴァンニは、不敵にも騎士長の石像を晩餐に招く。石像は彼に改悛を迫るが、ドン・ジョヴァンニは意に介さずついには地獄に落とされる。

新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』ダイジェスト映像

<https://www.youtube.com/watch?v=1rmI0V4HahE>

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】飯森範親

IIMORI Norichika

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響などに客演。2001年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督（GMD）に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。14年より日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任、世界でも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という大プロジェクトを手掛ける（25年3月退任）。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。新国立劇場では『鹿鳴館』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』、『夏の夜の夢』、『コジ・ファン・トゥッテ』を指揮している。



【演出】グリシャ・アサガロフ

Grischa ASAGAROFF

ドイツのジーゲン生まれ。ミュンヘン大学で音楽と演劇を学ぶ。1966年よりバイエルン州立歌劇場で舞台監督、演出助手の仕事を始め、ドルトムント歌劇場、ライン・ドイツ・オペラなどで助手を務め、ギュンター・レンネルト、ジャン＝ピエール・ボネルなどのもとで研鑽を積みながら国際的な活動をスタート。82年からチューリヒ歌劇場、86年からウィーン国立歌劇場首席演出家を務め、2012年までチューリヒ歌劇場芸術監督。新国立劇場では04年『カヴァレリア・ルステイカーナノ道化師』、06年『イドメネオ』、08年『ドン・ジョヴァンニ』の演出を手がけるほか、09年ボネル演出の『チェネレントラ』では、再演演出および演技指導で参加している。



【ドン・ジョヴァンニ】ヴィート・プリアンテ（バリトン）

Vito PRIANTE

ナポリ出身。ドイツ文学とフランス文学を学んだ後、2002年にフィレンツェでプロデビュー。その後、スカラ座、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ローマ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、バレンシア歌劇場、シヤンゼリゼ劇場、ロサンゼルス・オペラ、カナディアン・オペラ・カンパニー、ザルツブルク音楽祭、英国ロイヤルオペラ、テアトロ・レアル、シカゴ・リリック・オペラなど、世界各地の歌劇場、音楽祭に出演。最近では、モンテカルロ歌劇場『ロベルト・デヴリュー』ノッティンガム公爵、『ファルスタッフ』フォード、トリノ王立歌劇場、バルマ王立歌劇場、レッジョ・エミリア歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、フィレンツェ歌劇場『放蕩者のなりゆき』ニック・シャドウ、ローマ歌劇場、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座『チェネレントラ』ダンディーニ、ローマ歌劇場、ザルツブルク音楽祭、バルマ王立劇場『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ、英国ロイヤルオペラ『魔笛』パパゲーノに出演。09年、スカラ座『囚われ人』タイトルロールによりアッピアーティ賞受賞。17年には『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコでBBCミュージック・マガジン賞「オペラ賞」を受賞した。新国立劇場では21年『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵に出演。



【騎士長】田中大揮（バス・バリトン）

TANAKA Taiki

昭和音楽大学卒業、同大学院修了。19年渡伊。12年『フィガロの結婚』バルトロで藤原歌劇団にデビュー以降、『仮面舞踏会』サムエル、『トスカ』シャルローネ、『愛の妙薬』ドゥルカマーラ、『セビリアの理髪師』バルトロ、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『二人のフォスカリ』ヤコポ・ロレダーノなどで出演し、いずれも好評を得ている。日本オペラ協会には、21年『キジムナー時を翔ける』区長/地頭代、23年『夕鶴』惣どなどに出演。また文化庁人材育成『ジャンニ・スキッキ』ベッテ、『魔笛』弁者、藤沢市民オペラ『トスカ』シャルローネ/牢番、ひろしまオペラルネッサンス『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールなど各地でオペラに出演。そのほか『メサイア』『第九』、『モーツァルト』『レクイエム』などのバス・ソロとしても活躍。新国立劇場では『子どもと魔法』肘掛椅子/木、『ウィリアム・テル』メルクター、『カルメン』スニガに出演。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。



【レポレッロ】フランチェスコ・レオーネ(バス)**Francesco LEONE**

サルデーニャ島カリアリ生まれ。カリアリのパレストリーナ音楽院に学ぶ。2014年、ジェルメッティ指揮『トスカ』でカリアリ歌劇場にデビュー後、『椿姫』『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『西部の娘』『ドン・ジョヴァンニ』など数多く出演している。ほかにもパルマ・ヴェルディ音楽祭、ポローニャ歌劇場、サン・カルロ歌劇場、カルロ・フェリーチェ劇場、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場、トリノ王立歌劇場、バーリ・ペトルツェツリ劇場などイタリア各地の主要劇場に次々とデビューしており、26年にはエクサン・プロヴァンス音楽祭への出演も予定している。レパートリーには『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロ/マゼット、『イル・トロヴァトーレ』フェランドなどがある。新国立劇場では23年『ラ・ボエーム』コッリーネに出演。

**【ドンナ・アンナ】イリーナ・ルング(ソプラノ)****Irina LUNGU**

ロシア出身。ミラノ・スカラ座アカデミー在籍中にリッカルド・ムーティによりミラノ・スカラ座 2003/04 シーズン開幕公演『モイズとファラオン』アナイ役に抜擢され、同劇場で『愛の妙薬』アディーナ、『マリア・ストゥアルダ』タイトルロールなどに出演。ミラノ・スカラ座の『椿姫』ヴィオレッタは07年にデビュー後、08年、13年にも出演している。瞬間に世界のオペラ界の主要アーティストとなり、パルマ王立歌劇場、ローマ歌劇場、ヴェローナ音楽祭、トリノ王立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、フェニーチェ歌劇場などに出演。最近のロールデビューに、新国立劇場及びミラノ・スカラ座で『シモン・ボッカネグラ』アメリア、スカラ座『道化師』ネッダ、チューリヒ歌劇場『海賊』イモージュネ、『ファルスタッフ』アリーチェがある。またスカラ座『ラ・ボエーム』ムゼッタ/ミミ、チューリヒ歌劇場『イタリアのトルコ人』フィオリッラ、『ルチア』タイトルロール、ベルリン州立歌劇場『椿姫』ヴィオレッタ、『リゴレット』ジルダ、フィレンツェ歌劇場『ファルスタッフ』アリーチェなどに出演している。新国立劇場では17年『椿姫』ヴィオレッタ、21年『ルチア』タイトルロール、23年『シモン・ボッカネグラ』アメリアに出演した。

**【ドン・オッターヴィオ】デイヴ・モナコ(テノール)****Dave MONACO**

洗練されたフレージングと無理のない高音が絶賛されるイタリアの若手テノール。2022年にロッシェニ・アカデミーのメンバーとして『ランスへの旅』リーベンスコフ役に出演しロッシェニ・フェスティバルにデビュー。若手ロッシェニ・テノールで最も注目されるひとり。ポルトフィーノ国際声楽コンクール、ザンドナイ音楽コンクールなどの国際コンクールで入賞。ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ劇場『イタリアのトルコ人』ドン・ナルチーゾ、『チェネレントラ』ドン・ラミーロ、トゥーロン歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、トリエステ・ヴェルディ劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』テバルドに出演。23/24 シーズンには『ウィリアム・テル』リュオディでミラノ・スカラ座にデビューし、トリエステ・ヴェルディ劇場『チェネレントラ』ドン・ラミーロ、フィレンツェ歌劇場『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵にも出演。最近では、モニース・オペラ、フェニーチェ歌劇場、ポローニャ歌劇場で『セビリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵、ローマ歌劇場『アルジェのイタリア女』リンドーロ、パルマ王立歌劇場『ファルスタッフ』フェントンなどに出演している。新国立劇場初登場。

**【ドンナ・エルヴィーラ】サラ・コルトレツィス(ソプラノ)****Sara CORTOLEZZIS**

イタリアのソプラノ。ヴェネツィア近郊メストレ出身。2022年ヴォーチ・ヴェルディアーネ国際コンクールで最優秀女声賞のカルロ・ベルゴンツィ賞と特別賞のレナータ・テバルディ賞を受賞。19年ヴィジエヴァノ市国際コンクール、21年スポレート歌劇場歌唱コンクールなどで優勝。18年にパドヴァ・バルバリゴ劇場で『椿姫』ヴィオレッタに出演してデビューし、スポレートとペルージャで『蝶々夫人』タイトルロールに、22年スポレート歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナに出演。ノヴァーラ・コッチャ劇場『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、ポローニャ歌劇場『シチリアの晩鐘』エレナ、バーリ・ペトルツェツリ劇場『オテロ』デズデーモナなど重要な出演が続く。最近では、トリエステ・ヴェルディ劇場『アンナ・ボレーナ』タイトルロール、ヴェローナ・フィラルモニコ劇場『イル・カンピエッロ』ルシエータ、トッレ・デル・ラーゴ・プッチーニ音楽祭『ラ・ボエーム』ムゼッタ、トリエステ及びボルツァーノとトレントのハイドン財団で『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、エルル・チロル音楽祭『ラ・ボエーム』ミミ、オペラ・ノース『シモン・ボッカネグラ』アメリア、英国ロイヤルオペラ『シチリアの晩鐘』エレナ、シュトゥットガルト州立歌劇場『オテロ』デズデーモナ、トリノ王立歌劇場『妖精ヴィッリ』アンナなどに出演。新国立劇場初登場。



【マゼット】近藤 圭(バリトン)

国立音楽大学卒業。同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第9期修了。ロームミュージックファンデーション奨学生として、ドイツ・ハンブルクに留学。沼尻竜典指揮トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ定期公演『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵役で2年連続出演。小澤征爾指揮『子供と魔法』時計、二期会『ナクス島のアリアドネ』ハレルキン、日生劇場『リア』フランス国王、『ラ・ボエーム』ショナール、東京芸術劇場『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、グランドオペラ共同制作『カルメン』モラレス、小澤征爾音楽塾『カルメン』ダンカイロなどに出演している。新国立劇場には16年『魔笛』パパゲーノに急遽出演して本格的にデビューし同役に出演を重ねるほか、『夏の夜の夢』デミートリアス、『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス、『夢遊病の女』アレッシオに出演。二期会会員。

KONDO Kei**【ツェルリーナ】盛田麻央(ソプラノ)**

国立音楽大学卒業、同大学院フランス歌曲コース修了。二期会オペラ研修所修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院修士課程を最優秀の成績で修了。第17回日仏音楽コンクール第1位及び竹村賞受賞、第12回東京音楽コンクール第2位、第8回エレナ・オブラストヴォヴァ国際ヤングオペラコンクール第3位。二期会『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『フィガロの結婚』バルバリーナ、東京文化会館『アマールと夜の訪問者』アマール、調布市民オペラ『椿姫』ヴィオレッタ、首都オペラ『トゥーランドット』リユーのほか、小澤征爾音楽塾『子どもと魔法』、日生劇場『ルサルカ』『魔笛』などに出演。近年も20年二期会『メリー・ウイドウ』ヴァランシエンヌ、21年同『魔笛』パミーナ、23年宮崎国際音楽祭『仮面舞踏会』オスカルなどに出演。新国立劇場では『子どもと魔法』安楽椅子／羊飼いの娘／ふくろう／こうもりに出演。二期会会員。

MORITA Mao

新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ドン・ジョヴァンニ

Wolfgang Amadeus MOZART / Don Giovanni
全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>

【公演日程】 2026年3月5日(木)18:00/7日(土)14:00/8日(日)14:00/10日(火)14:00/12日(木)13:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:26,400円・A:22,000円・B:15,400円・C:9,900円・D:6,600円・Z:1,650円

【前売開始】 2026年1月10日(土) 10:00~

※予定上演時間：約3時間25分（休憩含む）

指揮	飯森範親	ドン・ジョヴァンニ	ヴィート・ブリアンテ
Conductor	IIMORI Norichika	Don Giovanni	Vito PRIANTE
演出	グリシャ・アサガロフ	騎士長	田中大揮
Production	Grischa ASAGAROFF	Il Commendatore	TANAKA Taiki
美術・衣裳	ルイジ・ペーレゴ	レポレッロ	フランチェスコ・レオーネ
Set and Costume Design	Luigi PEREGO	Leporello	Francesco LEONE
照明	マーティン・ゲップハルト	ドンナ・アンナ	イリーナ・ルング
Lighting Design	Martin GEBHARDT	Donna Anna	Irina LUNGU
再演演出	澤田康子	ドン・オッターヴィオ	デイヴ・モナコ
Revival Director	SAWADA Yasuko	Don Ottavio	Dave MONACO
		ドンナ・エルヴィーラ	サラ・コルトレツィス
		Donna Elvira	Sara CORTOLEZZIS
		マゼット	近藤 圭
		Masetto	KONDO Kei
		ツェルリーナ	盛田麻央
		Zerlina	MORITA Mao

合唱指揮	水戸博之
Chorus Master	MITO Hiroyuki
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/dongiovanni/>【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650円: 公演当日朝 10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】

新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』2022年公演より 撮影:堀田力丸

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp>

東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結